

オープンデータ
戦略セミナー2014 in 新潟
2014年11月27日

藤沢市における オープンデータの 取り組みについて

面積： 69.51Km²
人口： 418,308人
世帯数： 179,380世帯
(2014/ 4/ 1現在)

オープンデータへの取り組み

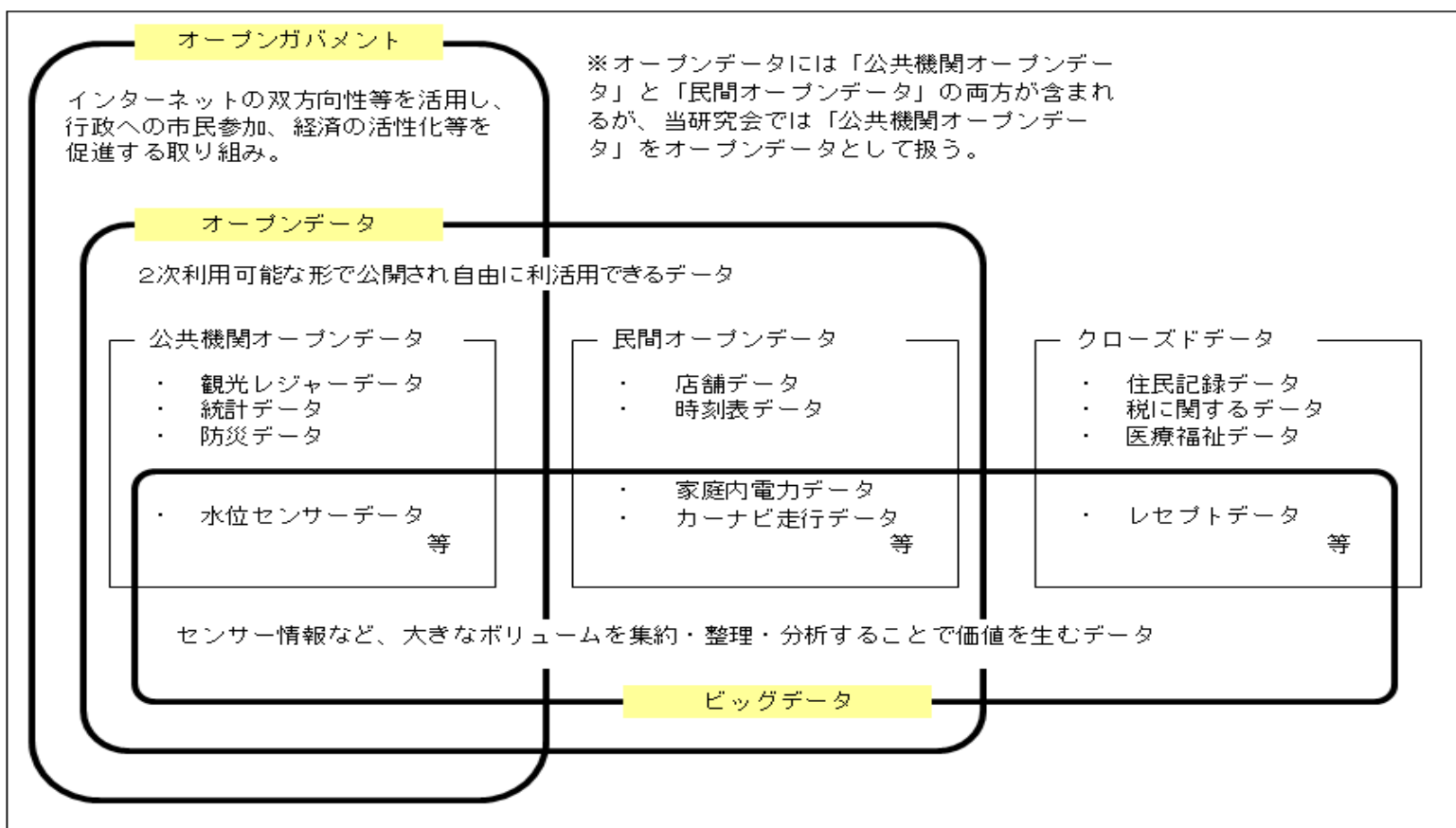
1. オープンガバメント、オープンデータの定義
2. オープンデータの5つの段階とデータ形式
3. 藤沢市のオープンデータについて
4. アプリコンテスト
5. その他



オープンガバメントとオープンデータ

オープンガバメント 行政のデータ公開を通じて、市民参加・経済活性化等を促進

オープンデータ 二次利用可能な形で公開され自由に利活用できるデータ



オープンデータの重要性について

オープンデータの意義・目的

(電子行政オープンデータ戦略より抜粋)

透明性・信頼性の向上

公共データが二次利用可能な形で提供されることにより、国民が自ら又は民間のサービスを通じて、政府の政策等に関して十分な分析、判断を行うことが可能となる。それにより、行政の透明性が高まり、行政への国民からの信頼を高めることができる。

国民参加・官民協働の推進

広範な主体による公共データの活用が進展し、官民の情報共有が図られることにより、官民の協働による公共サービスの提供、さらには行政が提供した情報による民間サービスの創出が促進される。これにより、創意工夫を活かした多様な公共サービスが迅速かつ効率的に提供され、厳しい財政状況、諸活動におけるニーズや価値観の多様化、情報通信技術の高度化等我が国を取り巻く諸状況にも適切に対応することができる。

経済の活性化 行政の効率化

公共データを二次利用可能な形で提供することにより、市場における編集、加工、分析等の各段階を通じて、様々な新ビジネスの創出や企業活動の効率化等が促され、我が国全体の経済活性化が図られる。また、国や自治体においても、政策決定等において公共データを用いて分析等を行うことで、業務の効率化、高度化が図られる。



オープンデータの5つの段階とデータ形式

段階	公開の状態	データ形式	参考
1	オープンライセンスの元、データを公開	PDF JPG	OL-Open License (計算機により参照できる (可読))
2	1段階に加え、コンピュータで処理可能なデータで公開	Excel Word	RE-Readable(Human& Machine) (コンピュータでデータが編集可能)
3	2段階に加え、オープンに利用できるフォーマットでデータ公開	XML CSV	OF-Open Format (アプリケーションに依存しない形式)
4	Web標準 (RDF等) のフォーマットでデータ公開	RDF XML	URI-Universal Resource Identifier (リソースのユニーク化、Webリンク)
5	4段階が外部連携可能な状態でデータを公開	LoD RDF スキーマ	LD - Linked Data (データ間の融合情報が規定。検索可能)

人が理解
するための
公開文書
(編集不可)

公開文書
(編集可)

機械判読
可能な
公開デー
タ



出典：★ Open Dataのサイト
(<http://5stardata.info/>)



〈概要〉

・平成25年度

旧地方自治情報センターの共同研究

「地方公共団体におけるオープンガバメントの推進に関する調査研究」へ参加(参加団体:横手市・倉敷市・大和市・藤沢市)

・平成26年度

6月オープンデータライブラリ開設

利用規約の策定

12月「湘南ふじさわスマイルアップコンテスト」開催(予定)



＜実施していること＞

・データの公開

「藤沢市オープンデータライブラリ」を開設し、公開できるデータをまずは二次利用できる形式で公開。

※同時に外部への利用規約も公開

・他の自治体との連携

神奈川県や横浜市と連携し、旧東海道宿場町に関するオープンデータの取り組みを開始。

・アプリコンテスト

12月に「湘南ふじさわスマイルアプリコンテスト」を実施予定。オープンデータに関するニーズなどの掘り起こしも目的である。

・保有データの調査

庁内で保有するデータの調査を開始。



オープンデータとは

行政が保有する地理空間情報、防災・減災情報、調達情報、統計情報などの公共データを、誰にでも利用可能なデータ形式で公開することです。オープンデータを推進することにより、行政の透明性・信頼性の向上、公共サービスの迅速化、多様化するニーズや価値観への対応、地域経済の活性化などが期待されています。現在、世界的にオープンデータが注目されており、日本もその例外ではなく、「世界最先端IT国家（IT総合戦略本部決定）」の中でも、オープンデータの推進が盛り込まれています。

そこで、藤沢市でもオープンデータを推進するため、保有している情報資産を段階的に公開してまいります。

お知らせ

湘南ふじさわスマイルアプリコンテストを開催します！！

藤沢市では、藤沢市がスマイルで溢れ、市民の方々がハッピーになるアプリを募集いたします。

開催日時：2014年12月13日（土曜日）

開催会場：藤沢商工会館（ミナパーク）

詳細は下記URLの公益財団法人湘南産業振興財団様のHPでご確認ください。

- URL：<http://www.cityfujisawa.ne.jp/appli-con/>（外部サイトへリンク）

藤沢市では公開して欲しいデータを随時募集しております。

公開して欲しいデータのご要望がある、又はデータの誤り等を発見した場合は下記のお問い合わせ先にお知らせください。ただし、ご要望に関しましては、課内で検討させていただいた結果、ご対応できない場合がございますので、ご了承ください。

オープンデータの利用条件

「藤沢市オープンデータ」の利用に際しての規約を掲載しています。オープンデータのご利用の際には、本規約に従っていただくようお願いします。また、データの利用をもって本規約の内容を承諾したものとみなします。本規約の内容は、必要に応じて予告なしに変更することがありますので、オープンデータのご利用に際しては、必ず本ページで利用規約の最新の内容を確認してください。

- [藤沢市オープンデータ利用規約（最終更新日：平成26年4月1日）（PDF：149KB）](#)



（外部サイトへリンク）

この作品は[クリエイティブ・コモンズ表示4.0国際ライセンス](#)の下に提供されています。（外部サイトへリンク）
（日本語ver）（外部サイトへリンク）

個人情報の取り扱いについて

当サイトでの個人情報の取扱いは、「[藤沢市個人情報保護制度](#)」に従い適切に取り扱います。

藤沢市オープンデータライブラリ

統計情報（2014年1月1日～9月1日現在）Excel形式、CSV形式

- [人口・世帯数の推移（Excel：88KB）](#)

CSV形式：[2014年9月（CSV：3KB）](#)、[8月（CSV：3KB）](#)、[7月（CSV：3KB）](#)

[6月（CSV：3KB）](#)、[5月（CSV：3KB）](#)、[4月（CSV：3KB）](#)

[3月（CSV：3KB）](#)、[2月（CSV：3KB）](#)、[1月（CSV：3KB）](#)

- [町丁字別人口と世帯数（Excel：120KB）](#)

CSV形式：[2014年9月（CSV：9KB）](#)、[8月（CSV：9KB）](#)、[7月（CSV：9KB）](#)

[6月（CSV：9KB）](#)、[5月（CSV：9KB）](#)、[4月（CSV：9KB）](#)

[3月（CSV：9KB）](#)、[2月（CSV：9KB）](#)、[1月（CSV：9KB）](#)



アプリコンテストの実施

藤沢市では、街がスマイルであふれ、
市民がハッピーになるアプリを募集しま
す！

アプリ部門

アイデア部門

★観光、健康、防災、シティープロモーションなど
分野は問いません

★オープンデータを活用したアプリも募集します

★藤沢市では、以下のようなアプリを期待しています

- 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた
“おもてなし” アプリ・アイデア
- 津波等の大災害で市民を避難誘導する
“みちびき” アプリ・アイデア
- 郷土の歴史文化を再発見できる
“おたから” アプリ・アイデア
- 藤沢の魅力をアピールする
“おどろき” アプリ・アイデア
- スマートプラチナ社会を楽しむ
“らくらく” アプリ・アイデア

藤沢市では、街がスマイルであふれ、
市民がハッピーになるアプリを募集しま
す！

アプリ部門賞
賞金20万円
アイデア部門賞
賞金5万円

応募書類
ダウンロード！

<お問合せ>
公益財団法人湘南産業振興財団
TEL: 0466-21-3811
MAIL: info@shonan-shokai.or.jp
藤沢市IT推進課
TEL: 0466-50-3505
MAIL: info@2020city-fujisawa.jp

湘南ふじさわ
スマイルアプリコンテスト
Facebookページ

公開希望
データ募集中
人口データや施設情報など、藤沢市
に公開して欲しいデータを募集してい
ます(藤沢市ホームページ内)

主催:
●藤沢市
●公益財団法人湘南産業振興財団

協賛:
●藤沢商工会議所
●(公社)藤沢市観光協会
●(一社)日本経営協会
●長尾教養大学SFC研究所、
●湘南工科大学
●日本大学生物資源科学部
●多摩大学グローバルスタディーズ
学部

目 的

スマートフォン市場の拡大とともに、観光や健康、防災といった生活に密着したアプリが多く
開発されています。そこで、藤沢市では、明るい未来を実現し、誰もが安全・安心で楽しく便
利になるアプリやアイデアを募集し、優秀な作品を顕彰します。また、この活動を通して、後
れた技術者や起業家の発掘・育成を図ります。

募集期間

2014年10月1日から10月31日まで
詳細は(スケジュールを参照)

募集部門

アプリ部門
プログラム(紙行版でも可)を募集
(Android4.2以上もしくはiOS7以上で動作するもの、Webア
プリも可。)

アイデア部門
夢のあるアプリケーションのアイデア・企画を募集

募集内容

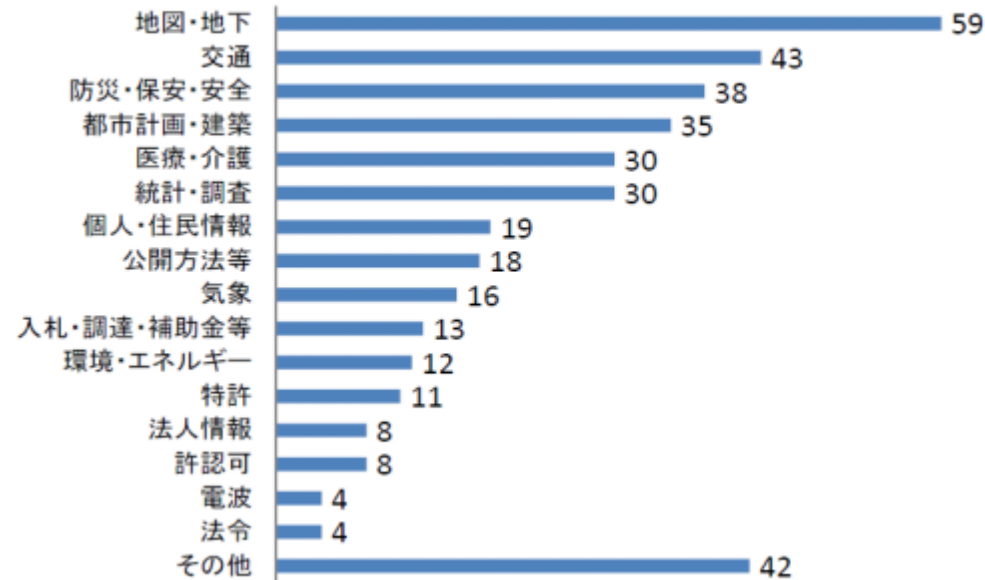
★観光、健康、防災、シティープロモーションなど分野は問いません
★オープンデータを活用したアプリも募集します
★藤沢市では、以下のようなアプリを期待しています

【例】

- 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた“おもてなし”アプリ・アイデア
- 津波等の大災害で市民を避難誘導する“みちびき”アプリ・アイデア
- 郷土の歴史文化を再発見できる“おたから”アプリ・アイデア
- 藤沢の魅力をアピールする“おどろき”アプリ・アイデア
- スマートプラチナ社会を楽しむ“らくらく”アプリ・アイデア



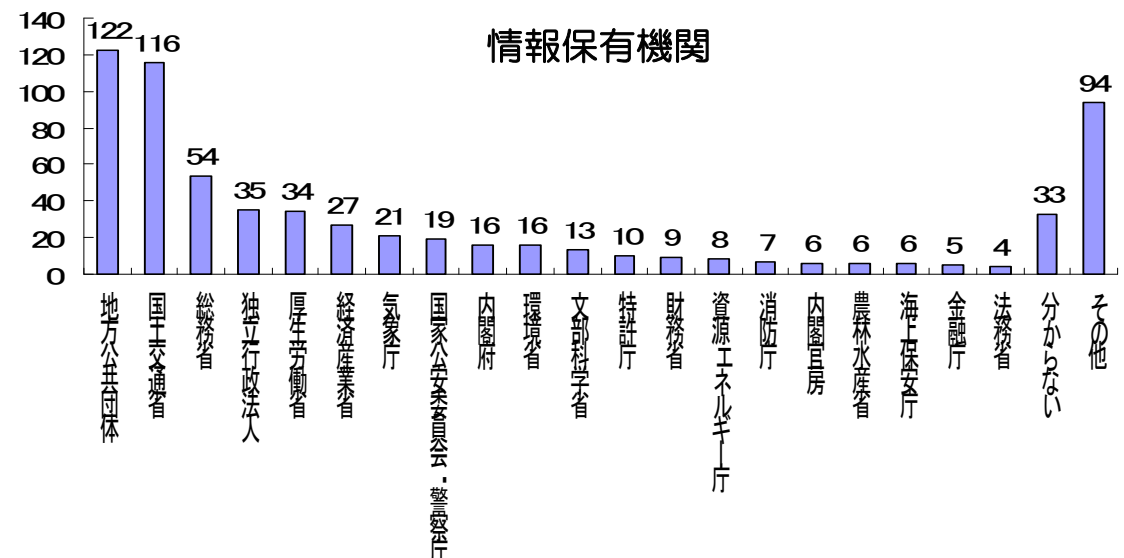
ニーズの高い公共データの種類 [回答数]



地図・地下

地下・地質データ、
国土地図・画像データ
衛星画像データ
固定資産課税台帳
上下水道データ
埋蔵文化財情報
道路台帳等
番地までの緯度経度情報

情報保有機関



- オープンデータへの取り組みを始める

なぜやらなければならないのか？

- 組織的な取り組みにする

- 技術的な手法を選択する

CMS等ツールの充実

- 業務プロセスの検討する

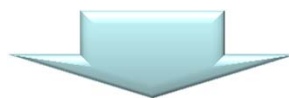
- オープンデータの利活用を浸透させる

ニーズの把握、
利活用事例、
アプリの流通



動機づけ = なぜやらなければならないのか？

- ・ オープンデータに対する社会全体の関心が高まっている
- ・ 地方公共団体の役割が明確にされている（電子行政オープンデータ戦略）
- ・ 地方公共団体が所有するデータの提供が望まれている



明確にされた役割を果たし、利用する側の期待・要望に応えなければならない。
また、公開する側である地方公共団体にもメリット・期待できる効果はある。

透明性の確保

地域経済の
活性化

コストの削減

では・・・情報部門は、そのためにどんな役割を担うべきか？



情報システム部門の役割

情報部門は、オープンデータに取り組むけん引役であるべきだろう。
情報部門であればデータの特性やセキュリティに関する知識もあり、
庁内の調整役としても適任ではないかと考える。

組織的な取り組みにする

トップの理解を得る

職員の理解を得る

- オープンデータ自体を知らない。
- オープンデータに取り組む意義や目的がわからない。
- オープンデータがもたらす効果がわからない。
- データの悪用や改ざんに不安がある。
- データの維持管理にかかる負担が増えるのではないか。
- オープンデータと情報公開制度との違いが分からない。
- オープンデータへの取り組み方がわからない。
- 現状、公開を意識したデータ作りをしていない。



ニーズの把握

アイデアソンやハッカソンなどのイベントを開催する

データを把握する

保有している情報を洗い出す

外部に取り組みを周知する

- 自治体が行っていることが知られていない。
- どんなデータが利用できるのか知られていない。
- 法令等に従い、既にやっているが、知られていない。
- オープンデータとは何か知られていない。



住民の
明確なニーズは
あるのか？

現時点で利用側からの
細かいニーズを
提示することは困難。
ニーズがあるから
取り組むのではなく、
ニーズを呼び込むために
取り組む。



オープンデータは経営資源

- 自治体の経営資源「人」「モノ」「金」が増やすことは困難
- 増加し続ける「情報」を経営資源として有効活用する手段 ⇒ オープンデータ

“できること” から ⇒ 小さな取り組みを大きなうねりへ

- 公開済の情報も、多くの自治体がオープンデータで公開するだけで意義が大きい
- オープンデータが増えれば、様々なアイデア・アプリ開発・ニーズを呼ぶ。

すぐにスタートはできる

- 公開している情報ならば、公開時と同じルール・基準で実現可能
- 未公開の新しい情報を公開する場合に新しい基準やルールを整備
- 細かい基準・ルールを決めなくてもオープンデータはスタートできる。



【参考となる資料：内閣官房、総務省】

- IT戦略本部 「電子行政オープンデータ戦略」（平成24年7月4日）
- IT戦略本部 「電子行政オープンデータ戦略のためのロードマップ」（平成25年6月14日）
- 各府省CIO連絡会議決定 「二次利用促進のための府省のデータ公開に関する基本的な考え方（ガイドライン）」（平成25年6月25日）
- 総務省編 「平成25年度版情報通信白書」（平成25年7月16日）
- 地方自治情報センター
地方公共団体におけるオープンガバメントの推進に関する調査研究（平成26年3月）

ありがとうございました



IS 501302 / ISO IEC 27001

e-mail: ohataka-t@city.fujisawa.lg.jp

URL: <http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp>

